

令和3年度
和歌山県CSマイスターミニ座談会（東牟婁会場①）まとめ

日時：令和3年12月17日（金）14:00～16:00
場所：新宮市 旧チャップマン邸

テーマ：「共育コミュニティは宝の山！」～すべての子供が輝くCSをめざして～

ミニ講演会：「地域で子供を育てる取組
～共育コミュニティとコミュニティ・スクール～」
紀の川市社会教育指導員 岡本 公博 氏（県CSマイスター）
交流会：グループ交流「コミスクの困りごと&私の町の宝もの」
岡本マイスターに聞いてみよう！～グループ交流を受けて～

和歌山県がめざす子供像

「この地域で育ってよかった」と思える子供
地域社会を支えようとする意欲あふれる子供
ふるさとに愛着を持てる子供
ふるさとの未来を託せる子供

地域で子供を育てる取組

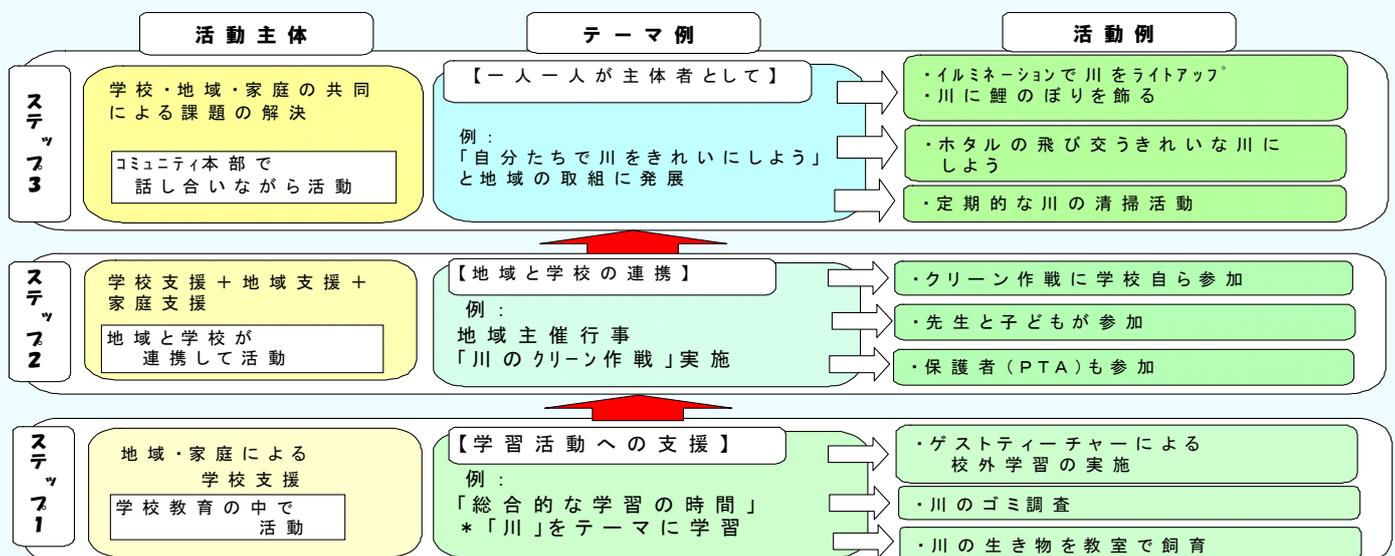
共育コミュニティとコミュニティ・スクール



きのくに共育コミュニティ

地域住民が、学校の求めに応じて様々な学校支援活動を実施すると共に、学校と地域が連携して大人も子供も共に育ち合うための仕組み（和歌山県が平成20年度から実施している。）

共育コミュニティ形成のステップ



共育コミュニティ取組例（岡本氏が根来小学校長の時代）

- ・下校引率ボランティア（1年生・**地域ボランティア**）・そろばん学習（3年生・**塾の先生**）
- ・さつまいもの苗植え（1年生・**農業従事者**）・町たんけん（2年生・**地域ボランティア**）
- ・競書会に向けての練習（6年生・**塾の先生**）・調理実習（5年生・**地域ボランティア**）
- ・裁縫の授業（6年生・**地域ボランティア**）・陸上練習（6年生・**地域ボランティア**）
- ・昔の遊び（1年生・**地域ボランティア**）・芝生の苗植え（**地域ボランティア**・教職員）
- ・共育ミニ集会（**地域住民**・**保護者**・教職員）
- ・ねごろカフェ（**保護者が子育てについてカフェ形式で交流**）

コミュニティ・スクール

和歌山県全体としては、平成29年度から導入している。

地域が学校を支援（一方向からの活動） → 学校も地域へ発信し、共に地域づくりをする取組へ

学校として取り組むべきこと

- ・「**地域連携担当教員**」を校務分掌の一つに位置付ける。
- ・**校内研修のテーマ**に「地域と学校の連携・協働について」を位置付ける等して、**全職員で共通認識**する場を設ける。
- ・新年度早々、地域コーディネーターを紹介する場を設け、**コーディネーターが活動しやすい雰囲気づくり**に努める。
- ・できるだけ多くの機会を捉えて、**学校経営方針を地域の方々にお知らせ**する。
- ・地域の方々が持つ「学校は敷居の高い場所」という意識を払拭するような「**地域に開かれた学校**」を作る。
- ・**共育コミュニティによる子供たちの学習成果**は、地域の回覧板、公民館等公共施設での掲示、地域の催し物での発表会等の機会を使って、**積極的にお知らせ**する。
- ・地域コーディネーターや学校支援ボランティアの方々に対する**感謝の気持ち**を常に表す。



学校と地域の連携による様々な効果

【取組による成果】

- ・コーディネーターの配置により、地域住民が来校しやすくなり、地域人材等の情報が学校へ届けられる一方、学校の実態についても正確に発信することができた。
- ・学校支援ボランティアの活動により、子供たちと向き合う時間が増加してきめ細かな対応ができたり、子供への安全が確保され、学習活動やクラブ活動の内容が充実した。
- ・子供の自尊感情が高まり、コミュニケーション力が付き、豊かな教育環境のもとで、学校が好きになる子供が出てきた。
- ・大人の変化として、子育てに自信がついて、学校への協力機会が増えたり、地域ネットワークが広がり、子供を巻き込んだ社会活動による地域の活性化が図られた。

【データから見える効果】

- ・保護者や地域住民が学校の諸活動に参加している学校の方が、学力が高い傾向がある。
- ・授業内容が充実し、校内環境整備が進んだと考える教員が多い。

グループ交流

きのくにコミュニティスクールに
取り入れたい宝「人・モノ・コト」
& コミスクの困りごと



人に関して

OBの存在、高校生の活躍、共育コミュニティ関係者との熟議、生徒会、90歳の見守り隊、家具作り職人、養蜂、農業従事者、近所のおばさん、新宮の文化人 等

コーディネーターの
なり手をどうするか

モノに関して

岩出署、熊野古道、新宮城跡、旧ヤップマン邸、丹鶴ホール、ホテル、エリアの広さ
人口減による空き部屋の活用 等

モノは多数だが、活用が
難しい

コトに関して

啓発活動、DVD作成、1日警察署長、獅子舞、ロングハイキング、地域とPTAが混じったバレーボール、防災、地元産業、新宮節の伝承 等

学習したことを生かして
ガイドをするのはどうか

岡本マイスターに聞いてみよう～グループ交流を受けて～

Q 1. 共育コミュニティ、学校運営協議会など言葉が難しい。

A 1. 共育コミュニティは実働、学校運営協議会は方向性を決める。

Q 2. 地域のお宝を発見する方法は？

A 2. 1人1人のボランティアの皆さんが宝という気持ちが大変。



Q 3. 小規模校から大規模校に進学した時の、生徒のギャップの埋め方は？

A 3. 地域の方がいかに学校に入り、ななめの関係を構築するか。

Q 4. 持続可能な取組にする秘訣は？

A 4. 地域の方を巻き込み、良かったという体験をしてもらう。

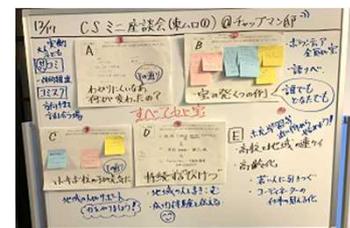
Q 5. 高等学校の地域の捉え方は？

A 5. スタートは学校の所在地の町から始めていけば良いのでは。



Q 6. 共育コミュニティ等各種団体の高齢化対策は？

A 6. コーディネーターの仕事を見える化した取組。
若い方々への引き継ぎ方を工夫する。



参加者の感想

・今日は座談会に参加させていただき、ありがとうございました。今日の岡本マイスターのお話とグループでの話し合いは、本当に有意義な時間でした。今後も宝を見つけて、永くつなげていける関係を保てられるよう地域との関りを大切にしたいと思います。

・岡本マイスターの話は、具体例も多く、イメージしやすかったです。今年度からこの職に就き、まさにコミスク、共育コミュニティの違いについて学んでいるところです。今回の座談会を含め、何度かマイスターさんの話を聞く中で、少しずつ違いが分かってきたように思います。学校運営協議会が、どのような子供、どのような地域を目指すかを示す場であることを、今後とも周知していければと思います。

・地域の方々との熟議に参加させていただき、ありがとうございました。神倉小学校の取組は、やはりすごいな！と感じております。地域の方が当たり前前に主体的に「共育」へ参加されている最先端だと思いました。

・今後高等学校も地域との連携をさらに深めていかねばならない状況にあります。座談会の内容も参考にしながら学校運営に生かしていければと思います。

・CSという言葉自体、ホームページで見て最近知りました。7月にUターンで帰省したのですが、東京で関わりのなかった地域に関わっていこうと思い、いろいろな講座に参加しています。その中でも防災士の講座では、学校と地域では別々に防災訓練を行っているが、互いに協力して防災訓練を行う方がよいとの話もありました。親や地域の住民で元気な働き盛りの方は、昼間市外で働いている人も多く、昼間常にいる学生（特に徒歩通学できる範囲で暮らしている小中学生）の役割が大きいとの話もあり、地域と学校が関わる活動に興味が一層湧き、参加させていただきました。学校と直接関わりのない私としては、今の学校の取組を聞いて、とても有意義な時間でした。こんな無知な私でも、グループ交流の時間が短く感じ、もっとお話がしたかったなあと思います。今後も時間の許す限り、何か関わっていけたら良いと思いますが、ボランティアがメインになると生活のこともあるので、どこまでできるかな？と思っているところです。いろいろな人の意見・考えを聞いて視野を広めたいです。

次頁へ続く

参加者の感想（前頁からの続き）

・講演会では、大変貴重なお話をありがとうございました。会場に出席されていた参加者の皆さん、またオンライン参加者の方々のご意見を参考に、今後も何かのきっかけ作りができればと考えています。分かりやすく、すぐに役立つ内容もございました。運営を支えて下さいました紀南教育事務所の社会教育主事様、この度はありがとうございました。

・皆さんのいろいろなご意見をお聞きして、とても興味を持ちました。学校（学生）と地域の関係は当たり前につながっていると思っていましたが、かけ離れていたところもありました。何か、少しでもお力になればと思います。

・それぞれの形で学校と関わっているのが分かりました。いろいろ参考にしながら、北山村ならではの形を考えていきたいと思います。

・他地域の取組について大変参考になりました。ありがとうございました。

・岡本CSマイスターの講演、大変勉強になりました。学校と地域の大切さを新たに強く思いました。これからも学校運営協議会委員として、頑張っていこうと思います。

・オンラインによるミニ座談会ではありましたが、県CSマイスターの岡本公博先生の熱量が伝わってきて、会場の旧チャップマン邸ではさらにヒートアップしていたのではないかと想像しました。お話を伺う中で、それぞれの地域ごとに学校教育を支えていただく人材の存在があることに改めて気づかされ、相互のちょっとした歩み寄りを持つことで理解が深まり、つながりが出てくるのだと感じました。その意味では、校内におけるキーパーソンとなる人材を育成するとともに、生徒たちの関心・意欲を高めるための仕掛け作りをしていきたいと思います。



会場：新宮市 旧チャップマン邸
(国登録有形文化財)